

大分合同新聞文化賞 受賞者の業績

地方文化

NPO法人安心院町
グリーンツーリズム研究会
(宮田静一会長)



本年度からメニューに組み入れた「豊前海での漁業体験」を楽しむ広島県内の中学生＝6月、宇佐市の長洲漁港

農村の再発見に大きな役割

農村のありのままの暮らしを体験してもらい、第二のふるさとに―と、全国に先駆け「安心院方式」のグリーン

フードフェアを通じた農村のありのままの暮らしを体験してもらい、第二のふるさとに―と、全国に先駆け「安心院方式」のグリーン

ツーリズム(GT)をつくり上げた。農村民泊を通じた都市と農村の交流などで地域づくりに大きな役割を果たしている。

会の発足は1996年。旅館業法運用の権限を持つ県に働き掛けて農家への宿泊を可能にする全国初の規制緩和を実現。その動きは全国に影響を与えた。

宮田会長の話 名誉なこと

村景観の見直しや食文化の継承、ヨーロッパへの研修旅行、農業・農地保全への取り組みなど活動は多岐にわたる。近年は豊前海での漁業体験や平和学習をメニューに組み入れるなど活動の幅を拡大。今年、全国の地方新聞社と共同通信社が創設した「第1回地域再生大賞」の九州・沖縄ブロック賞を受賞した。GTが産業として成立しているヨーロッパを目指し、「バカンス法」の制定を働き掛けてい

これまで約5万人(2010年度末現在)を受け入れ、

で大変うれしい。決して焦らず、あきらめず、みんなの手をつないで頑張ってこれたからだと思います。